

第3回 岡崎伝心プロジェクト記録

◆テーマ

「幅広い世代のたくさんの人に、伝統芸能の楽しさを知ってもらうための作戦を考える」

◆開催概要

日時：2025年11月9日（日）9:30—12:00

会場：岡崎市図書館交流プラザ りぶら

◆参加者

こども委員：7名 大学生ボランティア：3名 大人スタッフ：10名



[1]プロモーターゲーム ☆進行 ^{さとうたいが} 佐藤大雅

まずはみんなに日本の文化を外国の人に分かりやすく宣伝するプロモーターになってもらいました。ゲストの外国人（？）に、日本の食や文化をお勧めしたり、質問に答えたり。普段あまり考えたことのない「日本」について、改めて言葉にしてみる機会になりました。

[2] プロジェクトの内容を決める ☆進行 ^{かにえてつたろう} 蟹江哲太郎

各班で、前回の宿題として各自作ってきたプロモーション企画書を共有。実現できるかどうかは問わず、それぞれが効果的だと思う宣伝方法をうまく組み合わせた企画を考えていました。

委員たちはどんどんアイデアを出して SNS の活用、リアルで行うイベント

など、それぞれの企画案の ^{わくぐみ} 枠組みが出来上がっていました。



[3] 発表準備シートの作成

☆担当：佐藤大雅

自分たちのプロジェクトについて、5つの視点から考えてみました。

＜5つの視点＞

- ・なぜこのテーマに取り組みたいと思った？
 - ・このプロジェクトを実現するためには、具体的に何がいる？何をする？
 - ・自分たちのプロジェクトの「魅力」「自分たちらしさ」はなんだろう？
 - ・このプロジェクトを実現するためには、どんな人たちと協力することが必要だろう？
 - ・日本の伝統文化が発展すると、社会にどんな影響があるだろう？
- 活発に話し合いながら、自分たちが考えていることを言葉にして共有することができました。



◆宿題：発表の準備に必要なことを調べてくる。